

(速報)消費生活相談の概要＜2022年4月～2022年9月＞

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和4(2022)年11月

令和4年度上半期(2022年4月～2022年9月)に寄せられた消費生活相談件数は、2,016件でした。前年同期と比べ、115件増加(6.0%)しています。

一方、愛知県全体では約0.5%増、全国では約0.2%減となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他	計
2022年4月～ 2022年9月		1,067	478	197	95	123	7	49	2,016
構成比(%)		52.9	23.7	9.8	4.7	6.1	0.3	2.4	100.0
前年4月～9月		1,009	435	205	68	116	9	59	1,901
対 前年	件数(件)	58	43	△ 8	27	7	△ 2	△ 10	115
	率(%)	5.7	9.9	△ 3.9	39.7	6.0	△ 22.2	△ 16.9	6.0

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答。

■相談窓口別件数(表1-2)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		総合 センター	豊川 センター	蒲郡 センター	新城 センター	田原 センター	計
2022年4月～ 2022年9月		1,093	491	204	104	124	2,016
構成比(%)		54.2	24.4	10.1	5.2	6.2	100.0
前年4月～9月		1,075	451	200	71	104	1,901
対 前年	件数(件)	18	40	4	33	20	115
	率(%)	1.7	8.9	2.0	46.5	19.2	6.0

○居住地別では、蒲都市を除く各地域で増加しました。

○窓口別では、すべてのセンターで増加しました。

○全体件数が増加した要因としては、インターネット通販(前年同期483件→576件)とSNS(前年同期136件→162件)の増加が影響しています。なお、新型コロナ関連は減少(前年同期75件→45件)しました。

■相談者年代別件数(表2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

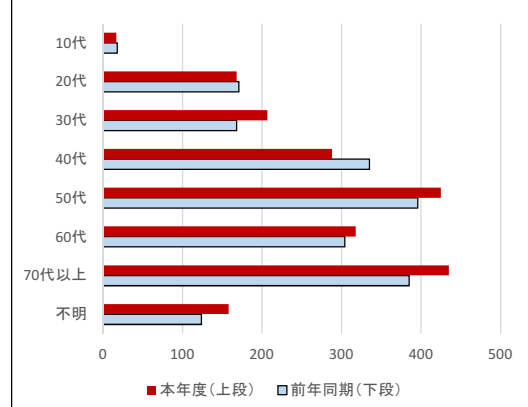
区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
2022年4月～ 2022年9月		17	168	207	288	425	318	435	158	2,016
構成比(%)		0.8	8.3	10.3	14.3	21.1	15.8	21.6	7.8	100.0
前年4月～9月		18	171	168	335	396	304	385	124	1,901
対 前年	件数(件)	△ 1	△ 3	39	△ 47	29	14	50	34	115
	率(%)	△ 5.6	△ 1.8	23.2	△ 14.0	7.3	4.6	13.0	27.4	6.0

○年代別では、特に30代、70代以上が増加しました。

【内訳・詳細】

- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、48件で増加しました(前年同期44件)。
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、32件で減少しました(前年同期47件)。
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、81件で増加しました(前年同期75件)。
- ・「SNSを活用した商品購入など」への相談は、162件で増加しました(前年同期136件)。
- ・絶対儲かると言われ、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、23件で減少しました(前年同期35件)。

年齢別相談件数(各年4月～9月)



■品目別相談件数(表3-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③
		商品一般	保健衛生品	教養娯楽品	食料品		教育・娯楽	金融・保険	運輸・通信	他の役務		
2022年4月～ 2022年9月	976	174	156	155	121	992	228	208	132	102	43	2,011
構成比(%)	48.5	8.7	7.8	7.7	6.0	49.3	11.3	10.3	6.6	5.1	2.1	100.0
前年4月～9月	903	186	145	111	147	943	234	203	131	78	55	1,901
対 前年	件数(件)	73	△ 12	11	44	△ 26	49	△ 6	5	1	24	△ 12
	率(%)	8.1	△ 6.5	7.6	39.6	△ 17.7	5.2	△ 2.6	2.5	0.8	30.8	△ 21.8

①商品計は、976件(前年同期比73件・8.1%)で増加しました。

商品分類では「商品一般」が最も多く、174件(前年同期比△12件・△6.5%)で減少しました。

次に化粧品の定期購入に関する相談を含む「保健衛生品」が156件(前年同期比11件・7.6%)で増加しました。

増加率の最も大きな「教養娯楽品」は155件(前年同期比44件・39.6%)でした。

②サービス計は、992件(前年同期比49件・5.2%)で増加しました。

サービス分類では最も多いのが「教育・娯楽」でしたが、228件(前年同期比△6件・△2.6%)で減少しました。

■商品等別相談件数(表3-2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分(順 位)	1	2	3	4	5	5	6	6	8	10
2022年4月～ 2022年9月	商品一般	フリーローン・サラ金	賃貸アパート	役務その他サービス	修理サービス	出会い系サイト・アプリ	他の健康食品	携帯電話サービス	電気	普通・小型自動車
	174	93	53	50	41	41	38	38	34	33
前年4月～9月	186	89	40	23	33	51	49	40	23	21
対 前年	件数(件)	△ 12	4	13	27	8	△ 10	△ 11	△ 2	11
	率(%)	△ 6.5	4.5	32.5	117.4	24.2	△ 19.6	△ 22.4	△ 5.0	47.8

・「フリーローン・サラ金」は93件(前年比4件・4.5%)で減少しました。

・「賃貸アパート」は53件(前年比13件・32.5%)で増加しました。

・「役務その他サービス」は50件(前年比27件・117.4%)で増加しました。

■販売購入形態別相談件数(表4)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外取引計	不明・無関係	計
		訪問販売	通信販売	電話勧誘販売	マルチ商法	その他			
2022年4月～ 2022年9月	494	166	729	109	23	16	1,043	479	2,016
構成比(%)	24.5	8.2	36.2	5.4	1.1	0.8	51.7	23.8	100.0
前年4月～9月	474	161	643	95	41	18	958	469	1,901
対 前年	件数(件)	20	5	86	14	△ 18	85	10	115
	率(%)	4.2	3.1	13.4	14.7	△ 43.9	8.9	2.1	6.0

○店舗購入は494件(前年比20件・4.2%)で増加しました。

○店舗外取引は1,043件(前年比85件・8.9%)で増加しました。

【内訳・詳細】

・店舗購入では「賃貸アパート」に関する相談が42件(前年30件)で最も多く、次いで「フリーローン・サラ金」が39件(前年48件)でした。

・店舗外取引では「通信販売」が727件(前年643件)で最も多く、

次いで、「訪問販売」が165件(前年161件)で増加しました。

・「訪問販売」では「修理サービス」が18件(前年7件)、

次いで「電気」と「新聞」が15件(前年各12件)でした。

・「通信販売」では「商品一般」が44件(前年38件)、

次いで「出会い系サイト・アプリ」が40件(前年47件)でした。

・「電話勧誘販売」ではインターネット接続回線を含む「光ファイバー」の相談が13件(前年13件)、「役務その他サービス」が9件(前年2件)で増加しました。

・その他に含まれる「訪問購入」は13件(前年16件)と減少しました。

